

令和6年11月19日開催

都市基盤整備・危機管理対策特別委員会

委員長報告

令和6年12月定例会

委員長 若谷正巳

去る11月19日に開催されました当委員会の審査概要について、ご報告申し上げます。

「川口駅再整備基本計画（案）に対するパブリック・コメントの意見集計結果等について」報告を求めましたところ、次のような説明を徴しました。

本市では、川口駅の鉄道輸送力の増強に向け、中距離電車の停車のためのホーム増設等を内容とする川口駅再整備の検討を進めており、令和4年11月にJR東日本と調査の実施に関する協定を締結し、令和6年1月のJR東日本からの調査結果等を踏まえ、川口駅再整備基本計画（案）を作成したとのこと。

本計画（案）に関して、令和6年7月22日から8月23日までの期間においてパブリック・コメントを実施したところ、251人から意見の提出があったとのこと。

主な意見としては、停車対象は上野東京ラインではなく、湘南新宿ラインを望むもの、西口のリアや美術館、東口のキュポ・ラ等の各商業施設からのアクセスを考慮した計画を望むもの、川口西公園の緑地の保全と活用を望むもの、京浜東北線について、始発設定やホームの拡幅等、混雑緩和に資する計画を望むもの、東西口を結ぶ自由通路について、既存北側デッキの活用及び拡幅案ではなく、現在の駅舎内通路の位置に復元を望むもの、コンコースについて、商業施設を充実させた駅ビル建設を望むもの等であったとのこと。

今後については、提出された意見を参考に、様々な観点や影響等を考慮した上で本計画（案）を精査し、併せて、基本協定の内容について、JR東日本と引き続き協議を進め、早期の基本協定締結を目指していくとのことでありました。

以上のような説明に対して、自由通路の整備にかかわり、提出された意見に対する検討状況について問われ、これに対して、国庫補助金の活用により、市負担額を削減できる可能性が高まったことに加え、デッキ中央及び南側の人流が多く、駅利用者にとって利便性が高い位置に改札口を整備できることから、現在の駅舎内通路の位置に自由通路を復元させる方向で検討を進めているとのことでありました。

このほか、ホーム増設に伴う鉄道用地の拡幅による西口駅前緑地の除却の詳細について等、質疑応答の後、本報告を終了し、委員会審査を終了した次第であります。

なお、現地視察として、支援車の導入状況について視察をいたしましたことを付言いたしまして、報告を終わります。